

西浦地区

みんなの「学びの場」通信

～西浦地区義務教育学校開校準備委員会報告～



西浦にできる「新しい『学びの場』」

これまで検討されてきた「地区個別計画」にもとづいて、西浦地区では、西浦小学校・西浦中学校・西浦公民館・児童クラブの合築が進められています。そして新しくできる学校は、令和8年度に新たに「義務教育学校」として開校する予定で計画を進めています。

新しい学校は、小中学校だけでなく、公民館や児童クラブも併設され、子どもたちにとつての「学びの場」だけでなく、「地域の皆さんにとつても」「新しい『学びの場』」となります。

特集
「義務教育学校」って？

義務教育学校は、現行の小学6年間、中学3年間の枠組みではなく、義務教育の9年間を1人の校長による学校運営により、一貫した教育活動を行うことができる学校です。

期待される効果

- ① 教育方針の一本化
学校教育を「縦(小中一貫)のつながり」で行うことにより、全教職員が共通した「育てたい子ども像」を描きながら教育を行うことができ、9年間を通じた安定した指導を行うことができます。
- ② 教員の相互乗り入れ指導
中1ギャップ解消のために、中学校の先生が小学校の授業をしたり、小学校の先生が中学校の授業をしたりするなど、指導方法の工夫を段階的に行うことができます。
- ③ 異学年交流の活性化
異なる学年の子ども同士が一緒に活動する機会を9年間の中で計画的に行うことにより、子どもたちのみんなのために行う動きの意識が高まり、「自己有用感」の向上にもつながります。また、身近に「良き模範」である上級生がいることにより、子どもたち自身が「15歳の自分」をイメージしやすくなります。

開校準備委員会

7月25日に第1回「西浦地区義務教育学校開校準備委員会」を開催しました。西浦小中学校の校長と教職員、西浦地区総代会長、西浦公民館長、各校長から推薦された地域の幅広い年代の方々を委員として、「新しい学校」のために検討するべきことについて確認を行いました。開校準備委員会では、

**みんなで創る
新しい学びの場
西浦から始まる
新しい学びのカタチ**

を合言葉に、地域の皆様が新しい学校の開校を楽しみにできるような「ワクワクする学校」を創っていきたく思っています。

これから、地域の皆様からのご意見を伺いながら進めていきます。是非、一緒にこの「新しい学校づくり」にご参加ください。

新しい『学びの場』 Q&A

6月に西浦中1年生に向けて、「西浦にできる新しい学校」についての授業が行われました。その時にいただいた生徒の皆様からの質問を一部ご紹介します。

質問① 「学校を新しくする理由や目的は何ですか。」

西浦の人口は学校ができた40年前と比較して大きく減少しています。老朽化した学校などの公共施設をそのまま修復するのではなく、適正規模で、かつ、西浦の良さを生かした「つながりのある施設」にしていく必要があります。

質問② 「工事はいつ始まって、いつ終わりますか。」

現在の計画では、令和6年7月頃から工事が始まり、令和8年2月頃に校舎が完成する予定です。その後、旧校舎の取り壊しなどを行い、最終的には令和10年度

中に工事が終了する予定です。

質問③ 「校歌は変わりますか。歌詞はどうなりますか。」

新しい学校になりますので、校歌だけでなく、校名や校章も皆様の意見を聞きながら新しいものに変えていく予定です。

質問④ 「小学校も教科で先生が変わりますか。」

教員の相互乗り入れ指導等、これから、先生たちを中心に「新しい学びの『カタチ』」を考えていきます。



「西浦地区義務教育学校地域説明会」のお知らせ

「新しい学校はどんな学校になるの?」「義務教育学校ってどんな学校?」地域の皆様へ、この「新しい『学びの場』」について知っていただくために、下記のとおり地域説明会を行います。お気軽にご参加ください。

開催日時 令和5年10月1日(日) 午後3時45分より

会場 西浦公民館

参加方法 地域説明会の事前申込等は不要です。



※この日午後1時30分から開催される西浦地区学校複合施設の第5回設計ワークショップに参加される場合は、事前に申し込みが必要です。

開校準備委員会のホームページについて

開校準備委員会のホームページは、下記からご覧いただけます。

URL: <https://www.city.gamagori.lg.jp/unit/kyoikuseisaku/nishiurakaikouzyunnbi.html>

